

こんにちは! 社協です!!

ふれあいネットワーク

2013

1月

No.91

特集
P2・3

2013年の宍粟市社協
理事の新春メッセージ

大切にしたい 地域のつながり



ひ孫と
いっしょ

山崎町 高所 シリーズ90

田中 とみゑさん(87歳)

○快一くん(1歳6ヶ月)

田中 一成さん・由理さん

■長男

あけまして

おめでとう

ございます

平成25年



つながりづくり実践の年

鶴崎 和宏 会長

(山崎町五十波)



新年のお慶びを申し上げます。

昨年は理事と職員で4つの班を編成し、穴栗におけるつながりづくりのための重要なテーマについて先進地を訪ね、大変意義ある研修を経験いたしました。

今年はそれをいかに実践に繋げるかが問われる一年です。皆様の参画を期待しますと共に、今年もご支援をよろしく願います。

社協活動への理解と支援のお願い

堂場 政彦 副会長

(千種町河内)



私の住む戸数50戸ばかりの集落では高齢化、過疎化の進行で、家庭や自治会の古来の機能に支障がはじめています。穴栗市では似たような集落がほとんどではないかと思いますが、社協ではこうした状況をふまえて第二次地域福祉推進計画を進めているところです。

皆様には取組への理解と協力をお願いします。

地域でのつながりを大切に

梶本 みゆき 理事

(山崎町庄能北)



子どもたちや高齢者・障がいがある方々が安全で安心して暮らせるには、どんな支援が必要であるかを考えることが大切だと思います。

また、地域社会の一員としてのつながりや、人と人の支え合いが大切であり、行政や自治会と協力し合って、誰もが住みやすい町になることを願っています。

地域に合った活動を！

前野 真弓 理事

(山崎町西町)



「支え合い、安心して暮らせるまちづくり」を実現するために地域内で考え話し合いながら、自分たちに合った活動を実践していく。

まずは、身近なご近所から声かけや見守りしつつ、自分に何が出来るか考えていきたいと思っています。

お互いに支え合う仲間づくりを！

植田 美代子 理事

(波賀町野尻)



誰もが不安に思っているこれからの老後の生活。生涯を住み慣れた自分の家で暮らし続けたい気持ちは誰もが願うところです。年を重ね、お互いに支え合う地域での仲間づくりが大切です。福祉連絡会を中心に、自主的に地域参画が出来るように知恵を出し合い頑張りたいです。

言葉・心・笑顔つないで！

山根 勝 理事

(波賀町安賀)



一人は点を定める。二人では線を結ぶ。三人では面を囲む。そして、四人では立体を構成する。私たちの日々の暮らしは、すべて、人と人との関係で成り立っています。人と人の合い（あい）を合力（ごうりき）と言います。隣り近所・小地域から、合力を!! 言葉・心・笑顔つないで!!

寄り添って扶け合いを

金本 一二 理事

(千種町西河内)



空き家が次第に増えてゆく昨今、住み慣れた地域で生きがいを持って生きてゆくには、周囲に心を配ることが大切です。悩む人の胸の内に耳を傾け寄り添って扶け合い、仲良く力強く暮らせるようにしたいものです。

大切にしたい地域のつながり



福祉の連携強化

段林 繁 副会長
(二宮町生栖)



宍粟市社協の運営は、県内でもトップクラスと思います。更に行政との連携を深め施策の充実を図ります。

福祉の本身は地域にあり、地味でもよい、心豊かな環境づくりを目指します。皆んなを繋ぐ情報のパイプ役として、責務の遂行に努めます。

情報発信と住民参加

森本 都規夫 副会長
(波賀町谷)



利用するようになって、初めて社協の事業内容を理解していただくことが多いのですが、そうではなく、日頃からもっと社協を知っていただけるよう、情報発信をしていく必要があると思っています。また、皆様の思いやご意見を反映するため、色々な場面で広く参画をお願いする必要もあると思います。その節には、快くお引き受け下さいますよう、お願いいたします。

地域をつなぐふれあい活動

谷林 俊美 理事
(山崎町塩田)



自治基本条例に掲げる「市民主体的に関わり、相互に協力して参画と協働によるまちづくり」が大切です。社協あげて取り組む喫茶・サロンで交じり合う子どもと高齢者の笑い声は、地域の思いやる心や支え合い、人と人との強いつながりが見えます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

2013年は、「つながりふくしプラン」第三年度の事業を推進し、宍粟での地域福祉のさらなる充実を図ります。皆様のご支援ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

新しい年のスタートにあたり、本会の理事15名から新春メッセージをお届けします。



「ストップ・ザ・無縁社会」を推進しよう

安積 盛久 理事
(二宮町曲里)



挨拶を「しなくても」、声を「かけなくても」済まされる日々の生活。その原因は、社会の成熟化の中から生まれた「車社会」。

人とのつながりが疎遠になっていることに気付かない今、チョットそこの車をやめてゆっくりとした気持ちで歩いてみましょう！

私たち二人ひとりがつながれるお年寄り、子どもたちと出合えるはず。そして、お互いに「声をかけあい、つながりましょう」。ストップ・ザ・無縁社会に向けて。

「ご近所さんからの発信

柝尾 多喜子 理事
(二宮町福野)



先日研修で伺った大津市の「ご近所ボランティアのお話で心に強く残ったのは、「ご近所の困っている方を少しでも手助けしたい。」という思いから出来上がった支援だということでした。

「つながる社会、つながる福祉」の大切な一歩を感じた一日でした。

自分たちでつくる地域交流の場

尾畠 美佐子 理事
(千種町河呂)



支部地域福祉推進委員会が発行している「かわら版」の中で、踊りの伝承を通じて地域が元気を取り戻している自治会の活動を知りました。

今、自分たちで地域交流の場をつくっていく努力がされています。その成果は、一歩ずつ福祉のつながりも深めていくことでしょう。

つながり、共に参加を！

社協は地域づくりの仲人さん！

平岡 千恵子 理事
(山崎町高下)



つながりふくしプランの実践を通じて、ふれあい活動のボランティアは、アンテナさえ立てていれば、人材は豊富で快く支援していただけること。子どもたちとの交流も役割を決めると積極的に参加してくれること。学校や市役所と連携することにより、小学生達と心を通じ合って遊ぶことができること。今年も大いに楽しみます。

健康寿命を延ばしましょう

花本 孝 理事
(宍粟市健康福祉部次長)



健康で自立した生活を送ることのできる期間を健康寿命といいますが、男性が70・4歳、女性が73・6歳で平均寿命（男性79・6歳、女性86・4歳）と比較すると差があります。この差は治療や介護が必要な期間を意味します。

「寿命＝健康寿命」になるために体と心に良いことにチャレンジしたいものです。

や

まさき

手話で広がる思いやりの輪!

ろうあ協会と手話サークルが交流会



劇の途中にみんなでつながって会場をぐるぐる

12月16日(日)、
宍粟防災センターで
宍粟ろうあ協会と宍
粟手話サークル連絡
会が、『クリスマス
交流会』を開催し、
手話を使った劇やク
イズ、プレゼント交
換などで楽しい時間
を過ごしました。

また、今年は放課
後子ども教室で手話
を学ぶ小学生が初め
て参加し、サークル
メンバーの高校生た
ちと会場を盛り上げ
ました。

子どもたちからは「緊張した
けど自分の手話が分かっても
らえてうれしかった」など、感
想が聞かれました。

「今年は子どもたちの参加が
多くうれしかったです。これか
ら手話の勉強を続けてほし
いです」と、手話サークルのみ
なさん。

手話は技術も必要ですが、伝
えようとする気持ちと理解し
ようとする気持ちが大切。こう
した経験をとおして、思いや
りの輪が広がっていくことを
願っています。

(山崎支部 森井裕矢)



山崎小学校放課後子ども教室「ささの子手話教室」
の子どもたちが手話で歌「ビリーブ」を披露

い

ちのみや

「わしが元気なうちは…」

雪の中、お弁当を配食

「今日は、(配食の) 黄色い
ジャンパーを家に忘れてしもて
…今から富士野(倉床)に行く
でついてくるか」

繁盛地区の倉床地域を担当
する枋尾英夫さん(77)は、預
かったお弁当をいつものように
利用者のお宅へ届けます。

12月11日(火)、前日降った
雪が残る中行われた配食サービ
ス。今回、枋尾さんの配食に同
行させていただきました。

「元気にしとるか。弁当持つ
てきたで」「ふれあい喫茶に来
とらんかったな。どないしよっ
たんや」…声をかけながらお弁
当を届ける枋尾さん。

すべての配食が終わり、「わ



「いつもすまんね。ありがとう」
「調子はどないや」



一宮町の一番北部にあたる富士野地区は12月上旬とは思えない風景に

しが元気なうちはさせてもら
うで」と、枋尾さんはこの場を
後にしました。

今回の取材を通して、配食
サービスがいろんな人たちの
支えで行われていることを、あ
らためて感じることでできた
機会となりました。

(本部・一宮支部 波多野好則)

は
が



「見て見て!」
お父さんは子どもたちに大人気

12月15日(土)、齊木一区集会所で波賀幼稚園の地域保育が行われました。

地域保育は、波賀町内の幼稚園で20年以上前から続く取り組みです。「ふるさと再発見」をテーマに、毎回PTAが中心となり、園児の家の近所にある施設や自然を活かしてウォークラリーや川遊びなどを計画しています。

今回は「昔であそぼう」と題し、園児のおばあちゃんや老人クラブ会員の指導のもと、園児や保護者など約30名が、ぶんぶんこま、くす玉鉄砲などを楽しみました。

「昔であそぼう」

地域で学ぶ地域保育



くす玉鉄砲
に挑戦!



「ええ音がするやろ。人のおらんとこで打つんやぞ」

慣れない手づくりおもちゃに苦戦する子どもたちに、「昔のおもちゃは失敗も多いけど、練習すれば体が覚えて上手になるよ」と、指導をされた中村庸子さんが声をかけます。

「園児だけでなく、未就園児や地域とも関わりが出来るのが、地域保育ならでは。波賀の伝統です」と園長の早川寿美さん。

これから地域での体験を通して、子どもたちの楽しい学びが増えますように。

(波賀支部 草田 希望)

ち
くさ



『めがね』に挑戦! 「藁をなうのも難しいな」岩野辺公民館にて

伝統の技を教わる

千種中学校の校外学習

12月7日(金)、千種中学校の生徒93名が地元の公民館・集会所等を訪れ、老人クラブ会員の指導のもと、しめ縄作りを行いました。

この交流は、しめ縄作りを通じて、地域の高齢者とのふれあいや、伝統の文化を学び継承する場として、千種中学校が毎年取り組んでいるものです。



『ごんぼ』に挑戦! 七野公民館にて

一年生の中には初めて藁をなう生徒もいて、藁を扱うコツを教えてもらいながらしめ縄を作っていました。

参加した中学生からは「右なえも左なえもわりと出来たけど、難しかった」、「しめ縄作りながら、地域の人たちといろんな話が出来てよかった」などの感想を聞くことができました。

これからも、しめ縄作りを通じた交流が続き、地域の伝統を学んで、心豊かな子どもにも育ってほしいと願っています。

(千種支部 小原志のぶ)

たくさんできたよ! クリスマスリースづくり



杉の葉を束ねて、綺麗なリース
ができました

12月1日(土) はりま自立の家

はりま自立の家(一宮)、しろう自立の家(波賀)の入居者とボランティアが毎年12月1日にクリスマスリースを作っていると聞いて訪ねた。

このリースづくりは約20年も続く恒例行事。ボランティアで毎年参加されている可藤愛子さんは「学校の先生のOBが集まり、毎年12月1日をリースづくりの日としてお手伝いしています。わたしも先輩に誘われてお手伝いに来させてもらい、もう10年以上。利用者さんと一緒につくるのが楽しいですね。」とこの日も半日で約100個のクリスマスリースができた。

利用者さんもこの日を楽しみにされていた様子で、みなさんの笑顔がいっぱいのリースづくりとなった。

(本部・一宮支部 田中祥仁)

クリスマスリースは、自立の家の職員、利用者さんの手により市内の福祉関係施設、公共機関、学校等へ届けられました。

元気で笑顔をいっぱい!



かわいい
手作りの
プレゼント

綺麗な音色の
ハンドベル演奏♪

12月18日(火) 宍粟防災センター

ひとり暮らし高齢者、また高齢者世帯へお弁当を届ける配食ボランティアとして活動している山崎高等学校生活創造科の生徒たちが、サービスをご利用されている方々をお招きし、今年もクリスマス会を開催した。

毎年恒例となっている自分たちで仕立てた洋服のファッションショーやハンドベル演奏、みんなで伝言ゲームをして交流を深め、最後は参加者全員に手作りのプレゼント。

参加者は「元気でいるから、ここに来て楽しめるわ」と笑顔いっぱい話してくれました。

生徒のみなさん、これからも利用者のみなさんに元気を届けて下さいね。

(山崎支部 横山洋子)

ろうソク・竹筒のご提供 ありがとうございました

阪神淡路大震災1.17のつどいを宍粟市からも協力するためろうソクと竹筒の提供をお願いしたところ下記のみなさまにご協力いただきました。お名前を紹介させていただきます。(敬称略・順不同)

ろうソクのご提供

橋本タマエ(山崎)	守岡 幹一(山崎)	小林 秀美(山崎)
塚本千鶴子(山崎)	大東 教(山崎)	尾崎 舘子(山崎)
川端 広恵(山崎)	和田 寿文(山崎)	金井 恒雄(山崎)
山田 博之(山崎)	井上 とき(波賀)	小林登美子(波賀)
田中 光代(波賀)	岡田 一重(波賀)	寺下可津江(波賀)
山下まき子(波賀)	尾関たき子(千種)	八田 定子(千種)
安東以左子(千種)	池田とよ子(千種)	上山 桂子(千種)
阿曾葬祭店(千種)	あじさい苑(安富)	
宍粟市シルバー人材センター千種事業所		
山崎ボランティア連絡会	匿名3件	

竹筒のご提供

小林 裕弥(波賀)



お寄せいただいたろうソクを活用し実施した1日ボランティア体験教室「ろうソク作り体験」では、564個のキレイなろうソクができました。

また、山崎ボランティア連絡会でもろうソク作りを行い250個のろうソクを提供いただきました。お届けいただいたろうソクは阪神淡路大震災1.17つどい実行委員会へお届けしました。ご協力いただきましたみなさま、ありがとうございました。

11月27日(火)千種保健福祉センターで行ったろうソク作り体験に20名が参加しました。

輪っしょい!! ボランティア

ボランティア・市民活動センター

本部・一宮 72-8787・72-2211
山崎 62-5530 波賀 75-3631
千種 76-3390

書き損じた年賀状、余った年賀状はありませんか??

ボランティア活動の1つとして、書き損じハガキや古切手を集めて寄付するという活動があります。

もし、家で眠っている書き損じ(未使用)ハガキがありましたら、ぜひ、社協へお寄せください。

お寄せいただいたハガキは、郵便局で手数料を払い、切手や新しいハガキに交換し、社協の地域福祉活動やボランティア活動に役立てています。ご協力よろしくお願いします。

未使用 眠っているカセットテープはありませんか??

ボランティアグループ「ふきのとう」では、市と社協広報紙などを朗読し、視覚障がいのある方や福祉施設にお届けしています。

生産も少なくなり、あまり見かけなくなったカセットテープですが、もしお手元に眠っているものがありましたら社協へお寄せ下さい。

朗読活動で活用させていただきます。

ただし、音質が悪くなったり、録音中に切れて使えなくなることを防ぐため、新品(未使用)のテープに限りです。

ご協力よろしくお願いします。

お問合せ 各支部

ぼらんちゃん



スポットライト

キラリかがやくボランティアの輪

このコーナーは、地域で輝いてボランティアをされている方にスポットライトをあて、活動をはじめるキッカケや活動を通じて感じた思いを語っていただきます。

今回は配食サービスの配送やふれあい喫茶のボランティアさんです。

★春名さんがボランティア活動をはじめたきっかけは??

3年前に退職してからは畑仕事なんかはしよったけど、時間もあったでね…。

「弁当配りしてみんか」て、2年ほど前に同級生から声かけられてね、去年の4月から弁当配りのボランティアをはじめてみました。

弁当配りは時間もかからんし、そない拘束されへんからちょうどええと思うて。それに仕事柄、町内やったら、まあどこでもだいたいわかるでなあ。

また、別の同級生から「手伝ってくれへんか」て声かけられて、笑顔*でしよっての、ふれあい喫茶のボランティアを嫁さんと一緒にするようになったんや。いろんな人に出会って話ができるんはええで。

勤めとるときは、いろいろな人に世話になったから、少しは地域に貢献もせなあかんと思うてます。

*小規模多機能型居宅介護事業所

たかし
春名 堂司さん(61歳) 千種町 千草



第4回 宍粟市地域福祉のつどい

2年に1回

テーマ

「地域のつながりを太くして、 ずーっと住み続けたいまちへ」

宍粟市社協では、平成23年6月に「第2次地域福祉推進計画(つながりふくしプラン)」を策定し、23年度から27年度までの5か年を期間として計画の実現に向けて取り組みを進めています。

今地域には、急速な少子高齢化や核家族化の進行、地域のつながりの希薄化や長引く経済不況等により様々な生活課題を抱えた方が増えています。

社協は地域福祉を進める組織として、地域のあらゆる生活課題を受け止め、相談・支援や解決につなげ、誰もが安心して暮らすことができる地域に根ざした福祉のまちづくりに取り組んでいます。

第4回目となる今回のつどいでは、つながりふくしプランの内容と進捗状況をお知らせし、地域での支え合いや福祉活動について、みなさんと共に考えます。

- ◎当日会場ロビーで、市内の福祉作業所の作品展示即売を行います。
- ◎これから地域での活動に使える脳トレブロック(コミュニケーション麻雀)の展示を行います。



手話通訳
要約筆記あり

このつどいは、兵庫県社協が推進する「ストップ・ザ・無縁社会」キャンペーンの一環で行います

とき **2月10日(日)**
13:00~15:45 ※開場12:30

ところ **山崎文化会館 大ホール**

内容

- 「つながりふくしプランは動いているか」スライドによる報告
- 実践発表とフォーラム

コーディネーター **藤井 博志先生**

神戸学院大学総合リハビリテーション学部教授
(宍粟市社協第2次地域福祉推進計画策定委員長)

発表者 地域福祉活動団体・グループ 3名

平成24年度歳末たすけあい募金事業

一人親家庭応援

新入学児童 ランドセル購入助成事業

今年の4月に小学校に入学する子どものおられる一人親家庭等に、ランドセルの購入費の一部を助成します。

助成上限額 **ひとり2万円**

※歳末たすけあい募金額と申請数により、減額となる場合があります

対象者

市内にお住まいの、今年の4月に小学校に入学する子どものおられる一人親家庭(母子、父子家庭)と、ご両親ともおられないご家庭で、助成を希望される方

申込期間

2月28日(木)

提出書類

- ①助成申込書 ②ランドセルの領収書
- ③世帯全員が記載された住民票
または、児童扶養手当証明書(写)

※申込書は本会ホームページでダウンロードできます。

※領収書は、保護者またはお子さんの名前が記入されたものを提出ください。

申込み

宍粟市社協本部、各支部



NPO法人高次脳機能障害ピアサポート

ひまわりの家からお知らせ

介護などで疲れている方
ちよっと息抜きしませんか?

★綺羅星 オカリナコンサート in ひまわりの家



西播磨を中心に活動しているオカリナアンサンブル「綺羅星」のコンサートを開催します。

オカリナの持つやわらかで温かく、やさしい音色に、みなさん一緒に癒しのひと時をすごしませんか?

日程 **1月20日(日) 午後2時~**

参加費 **1,000円(お菓子・飲み物付き)**

会場 **ひまわりの家**

申込み・お問合せ

NPO法人高次脳機能障害ピアサポート
「ひまわりの家」
山崎町段194-1 TEL/FAX 65-9205

要予約

賛助会員は社協のサポーターです!

宍粟市社会福祉協議会

平成25年度

賛助会員募集中!!



社協は社会福祉法に基づき全国すべての市町村に設置され、地域住民や社会福祉関係者の参加により、地域の福祉推進の中核としての役割を担い、さまざまな活動を行っている非営利の民間組織です。

地域のだれもが住み慣れたまちで、いつまでも安心して暮らし続けられる「ふくしのまち」をつくるため活動しています。

社協は住民の皆さまを会員として運営し、毎年8月には世帯を単位とした一般会員の募集を行っています。

これに対し賛助会員は、社協の活動趣旨に賛同し、1口以上の会費を納めその活動を財政的に支えていただく方で、個人、団体、企業の皆さまにご加入いただいています。

賛助会費は、社協一般会費や共同募金、善意銀行と並んで地域福祉を進める社協の貴重な活動財源です。賛助会員になっていただき、社協活動を応援してください。よろしくお願いいたします。

昨年度の加入実績は?

個人 912人

団体・事業所 85件

の皆さまに加入いただき、合計260万円の賛助会費を納入していただきました。

賛助会費の使途は?

賛助会費は、地域福祉を推進する社協を運営するための経費として活用します。

例えば
・事務機器の維持管理経費
・会車の維持管理経費
・郵便代や事務消耗品代 などです。

賛助会員になっていただくには?

賛助会費(1口:2,000円以上)を納めていただければ、どなたでも賛助会員になっていただくことができます。賛助会費を納める方法は2つあります。

①本会の口座へ振込みをしていただく方法

②本会本部・支部の窓口へ直接お届けいただく方法

①本会口座へ振り込んでいただく場合について
下記の金融機関で、市内にある本店(所)および各支店(所)でお振込みください。(振込手数料は無料)

※3/19(火)までに
納入いただければ、幸いです

◆金融機関振込み口座

口座名義

『宍粟市社会福祉協議会』

J A ハ リ マ 本 所	(当)0020572
J A 兵 庫 西 山崎支店	(普)0010850
西兵庫信用金庫 一宮支店	(普)0147329
淡陽信用組合 一宮支店	(普)0263182

◆郵便振替

加入者名

『社会福祉法人宍粟市社会福祉協議会』 口座番号 00970-8-82211

お問合せ先

社会福祉法人宍粟市社会福祉協議会

宍粟市一宮町閨賀300 ☎72-8787

やさしさ♡ありがとう

善意銀行

だより

(12/1~12/25受付分)
(順不同、敬称は略させていただきます。)



◆金銭預託

☆供養として

山崎町	田井	福元	昇
山崎町	青木	谷本	実
一宮町	能倉	柴原	良章
一宮町	須行名	柴田	吉介
一宮町	曲里	小国	博之
一宮町		匿名 1 件	
波賀町	皆木	平山	金弘
波賀町	有賀	尾崎	一郎
千種町	河内	工藤	繁

☆見舞い返し・快気祝いとして

一宮町	嵯峨山	小林	廣子
波賀町	齊木	樫谷	ミサエ
波賀町	齊木	津村	正行
千種町	西河内	村下	さとゑ

☆福祉用具のお礼として

山崎町	青木	宮藤	和子
山崎町		匿名 1 件	
波賀町	上野	谷尻	博誉

☆地域福祉のために

山崎町	五十波	鶴崎	和宏
山崎町	宇原	T.M	
山崎町	上寺	S.W	
山崎町		匿名 1 件	
一宮町	ひろちゃんのポン菓子		
一宮町	中安積農業祭		
波賀町		匿名 2 件	
千種町	河呂	妙見	澄男

金銭預託合計

581,450円

あたたかい善意の預託ありがとうございました。

◆物品預託

☆古切手ほか

山崎町	下町	和田	美歳
山崎町	今宿	兵庫森林管理署	
山崎町	山田	三浦	八千代
山崎町	庄能南	(株)ミキモク	
山崎町	土万	土万ふれあいの館	
		加工部会	
山崎町	西町	前野	寿恵子
山崎町	西鹿沢	きりん館	
山崎町	神谷	オオスナグループ	
山崎町	千本屋	長田産業グループ	
山崎町	川戸	入角	繁樹
山崎町	中比地	(株)平見窯業	
山崎町		匿名 1 件	
一宮町	西公文	森	カヨ子
一宮町	東市場	佐伯	恵美子
一宮町	西公文	森	厚美
一宮町		匿名 3 件	
千種町	河呂	清水	兼男
千種町	鷹巣	森井	夏代
千種町	黒土	(株)チクモグループ	
千種町	下河野	山根	キヌエ
千種町		匿名 1 件	
姫路市	(株)アクアクリーン		
宍粟市	一宮市民局		
宍粟市	市民生活部市民課		
宍粟市	健康福祉部波賀保健福祉課		

☆食料品 (配食サービスへ)

山崎町	野菜		
山崎町	スマイルグループ		
山崎町	神野ことぶき会		
山崎町	伊水グループ		
山崎町	土万グループ		
一宮町	三方町	寺田	澄人
一宮町		匿名 2 件	
波賀町	原	藤原	寿博

千種町	岩野辺	平瀬	玉緒
	しょう油		
山崎町		匿名 1 件	
	♪手づくりこんにやく		
波賀町		谷・ローズマリー	
☆紙おむつ			
一宮町	嵯峨山	小林	廣子
☆絵手紙 (配食サービスの利用者へ)			
一宮町	西公文絵手紙の会		
☆タオル			
山崎町		匿名 2 件	
☆祝箸 (歳末特別給食の利用者へ)			
波賀町	ボランティア上野しあわせ会		
千種町	鷹巣	土井	澤子

12月15日発行の「赤い羽根
ニュース」で平成24年度共同募金
運動の結果をご報告しましたが、
それ以降にお届けいただいた分がありま
したので、お知らせいたします。(敬称略)

戸別募金

千草自治会 2,300 円

※これにより千草自治会の戸別募金は、
52,300円となります。

事業所募金

千種支部集計分 (有)ケンコー
ご協力ありがとうございました。

みなさまのあたたかいお気持ちをお寄せください。

お寄せいただいた義援金は、中央共同募金
会を通じ、被災地へお届けします。引き続き、
ご支援をお願いします。

東日本大震災義援金受付中

H24.12月1日~
12月25日受付分 **2件 54,090円**

募金総額 (平成24年12月25日現在)

5,081,175円

●しそ自立の家が11月10日のオープンデー
で実施したバザーの売上金40,458円と募金
箱8,632円をお預かりしました。

●かしわの保育所保護者会が12月1日に実施
したチャリティバザー売上金の一部5,000円を
お預かりしました。

お寄せいただいた 紙おむつは...



介護していたご家族が亡くな
られたご家庭から「残った紙おむ
つをどうしよう?」とご相談いた
くことがあります。

社協ではこれらの紙おむつをお預かりし、本会の
ケアマネジャーやヘルパーなどを通じ必要とされて
いるご家庭へお届けし、大変喜ばれています。

善意銀行では、このように皆さまからお預かりし
た物品を社協の地域福祉活動やボランティア活動
に役立てています。

これからもご協力よろしくお願ひいたします。

本会善意銀行への預託には、

税制上の 優遇措置があります。

本会善意銀行へ預託(寄付)いただいた個人
または法人は、確定申告によって寄付金
控除または損金算入をすることができます。

※申告する際には、本会が発行した「預託領
収証」が必要です。

※平成24年9月11日より個人で預託いた
だいた方については、所得控除制度と税額控
除のどちらかの選択が可能となりました。

権利擁護の そうだんコーナー



今月のそうだん

虐待の通報を受けた市町村や地域包括支援センターは、どのような対応をとるのでしょうか。

Q Aさんに対する虐待の疑いが通報された後、調査が行われました。長男Bさんは、ヘルパーに頼らず自分でAさんの介護をしようと頑張っていました。慣れない介護について誰にも相談できずにいるうちにストレスが溜まり、トイレが間に合わなかったAさんに「何やっているんだ。」と怒鳴って壁に花瓶等を投げつけたことが数回あったそうで、「どうすればいいか分からなくなっていた。怖い思いをさせて母には悪いことをした。」と言っていました。Aさんは、「長男は几帳面で真面目すぎるところがあり、私の介護でイライラしていたのだろう。まだ自宅で生活したい。」と言っていました。

A 先月号で、虐待ではないかと思っただけでは通報することが重要であることを書きました。では、市町村や地域包括支援センターが通報を受けた後はどのような対応がとられるのでしょうか。

通報を受けた場合、市町村は速やかに事実確認のための措置を講じ、地域包括支援センターと対応について協議を行うとされています。

事実確認のためには、介護保険サービスを利用している人であれば担当のケアマネジャーや介護サービス事業者、他にも医療機関や民生委員等から情報収集を行います。また、実際に自宅を訪問して、虐待を受けていると疑われる高齢者、*養護者や家族等の状況を確認することが望ましいと考えられます。

事例のケースでは、事実確認の結果、Aさんに対する虐待が行われていたと判断の上、対応策として、Aさんに介護保険サービスを導入して訪問介護を受けてもらうとともに、長男Bさんに介護の知識等を伝えて介護負担の軽減を図ることが対応策として考えられるでしょう。対応策が実施されたら、Aさんに対する虐待がなくなる可能性が高いと思われます。

なお、通報後の事実確認の結果、高齢者が酷い怪我をしていたり、高齢者が認知症で預貯金を養護者が勝手に使い込んでいること（経済的虐待）が判明した場合には、高齢者と養護者を分離し、高齢者の入院、施設入所、成年後見制度の利用等を考える必要があります。

養護者とは…高齢者の日常生活のお世話をしたり、経済的に扶養している人で、施設の職員や訪問介護従業者以外の人を指します。

【くすのき法律事務所（神戸市） 弁護士 平野 晃子】

このコーナーでは、皆さまからの相談や質問を受付けています。

◎郵便、またはFAXで

・〒671-4137 宍粟市一宮町閨賀300 宍粟市社会福祉協議会
・FAX 0790-72-8788

暮らしの相談・お困りごとは社協へ！

総合相談所のお知らせ

◎心配ごと相談 (法律専門相談)

宍粟防災センター

1月25日(金)

2月1日・8日・15日・

22日(金)

午後1時30分～4時

※予約制となっております。

(山崎支部 621-5530)

◎結婚相談

宍粟防災センター

2月7日、21日(木)

午後1時30分～4時

◎介護・福祉相談

毎週月～金曜日

午前8時30分～

午後5時30分

常時、社協各支部の窓口で、介護に関する相談や苦情、福祉サービス等の相談を受け付けています。お気軽にご相談ください。

◎無料弁護士相談

平野晃子弁護士(神戸市・くすのき法律事務所)による無料法律相談です。

●宍粟防災センター

2月13日(水)

午後1時～4時

●メイプル福祉センター

2月20日(水)

午後1時～4時

○1件30分

定員6名(各センター)

○事前に電話予約が必要
です。

○先着順で受け付けますが、初めて利用される方を優先します。

○申し込み…社協本部
(電話721-8787)

※秘密は厳守します。相談は
いずれも無料です。市内に
お住まいの方が対象です。



「プレイボール!!」

こまつ ひろあき
小松 弘明 さん(54歳) 一宮町 福野

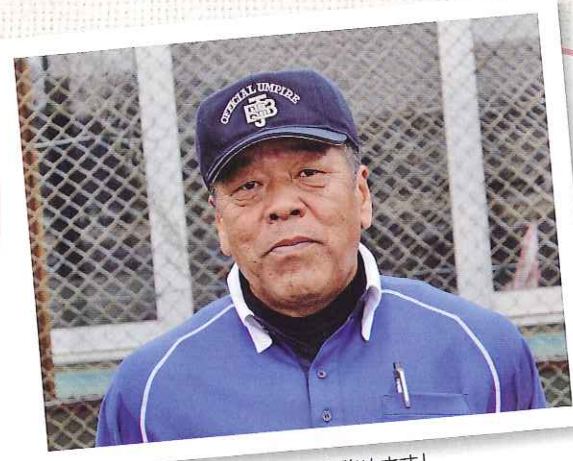
質問 早速ですが審判の醍醐味を教えてください
小松 昨日からの雨でグラウンドがぐじゃぐじゃで…何とか無事に終わりました。審判のきっかけはオレの坊主(息子)が少年野球(一宮ヤングベアーズ)で6年の時、監督に「審判してくれ」と言われてから…もう14年に。今は龍野野球協会(兵庫県軟式野球連盟所属)で審判長を。醍醐味やね…難しいな、奥が深いでね。ゲームがずっと流れたときの快感。1試合7回で1時間半ゲームでしょ。7回がトラブルもなしに時間内にずっと終わると…。

質問 ゲームがずっと流れたとき…ですね
小松 やっぱりそこやね。オレも中学の時に剣道、高校では陸上を。会社に入ってからバレーに野球、水泳…水泳は豊岡にいる頃、小学生に4年ほど指導をしたことも。競泳の審判もね。スタートの合図やターンの監察…。言うてもオレはスポーツマンやないで。まあとにかく「スポーツが好き、野球が好き」言うことですわ。

質問 野球が本当に好きなんですね
小松 野球ばっかりちゃうよ、趣味もちゃんと…。嫁と二人で旅行に行ったり、コンサートに行ったり。今年はチューリップのコンサートに。去年は長渕剛やろ、その前はドリカム…二人だけでね。

質問 最後に小松さんの“夢”をお聞かせください
小松 6年先(平成30年)に天皇賜杯(全日本軟式野球大会)が兵庫県で行われることが決まっています。オレが審判員として最後の年(60歳)になるからその集大成として天皇賜杯でぜひ球審を務めたい。これが今の夢。今日は、龍野まで(取材に)来てくれてありがとう。

「小松ちゃん、よう頑張ってるでしっかり取材してあげてよ」と審判員さんからの一言。小松さんの審判への思いをこの紙面を通して私なりに一生懸命表現しました。小松さん“天皇賜杯での球審”が実現できることを心から応援しています。
(本部・一宮支部 波多野好則)



「今日は球審を務めます」



第19回播但学童軟式野球選手権大会

両チームが整列。「それでは第1試合を始めます。礼」
～たつの市川原グラウンド(H24.12.15)～



一球一球に集中して…



「ストライク、バッターアウト!」
小松球審のジャッジに誰もが惹きこまれます

宍粟市の福祉指標 (平成24年12月25日現在)

	人口	65歳以上人口	高齢化率	H23.12月末 高齢化率
山崎	25,088	6,402	25.5%	24.6%
一宮	9,372	2,778	29.6%	28.9%
波賀	4,206	1,355	32.2%	31.9%
千種	3,395	1,158	34.1%	34.0%
全体	42,061	11,693	27.8%	27.1%

資料は宍粟市市民生活部提供

※この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分金の一部を活用して作成しています。
※当広報紙に掲載している氏名および写真等については、ご本人の承諾を得て掲載しています。

ふくし
パズル
NO.90

漢字4文字を
考えてください。

小

任

在

司

ヒント
健康で自立した
生活を送ることの
できる期間。
P3で紹介。

はがき、FAXで、パズルの答えと住所、氏名、今月号の「こんにちは! 社協です!!」に対する感想を記入し、応募ください。正解者の中から抽選で5名の方に粗品を進呈します。(※切り) 平成25年1月31日
住所 〒671-4137 宍粟市一宮町関賀 300 番地
FAX 0790-72-8788 宛先 宍粟市社協「ふくしパズル」係

12月号の答え『阪神淡路』。橋元千恵子(山崎町) 川口 増美(波賀町) 右の方が当選されました。 渡辺 澄子(波賀町) 片山としえ(山崎町) (敬称略) 賀川千鶴子(山崎町)